



三原中だより

八丈町立三原中学校

令和6年12月18日 令和6年度 第8号



学校ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/mihara-jhs/>

<学校教育目標>

人間尊重の精神を貴重とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

- やさしい人
- たくまい人
- よく学ぶ人



『 リンク 』



校長 石井 謙次

「こころ」の正体（小説「本心」とのリンク）

11月に公開した映画「本心」の広告に心が惹かれて早速原作小説を購入した。少しだけ科学が発展し、少しだけ社会が衰えた2040年の日本が舞台。事故で亡くなった母と生前分かり合えなかった主人公が、母の膨大な記憶と記録をAIに提供してヴァーチャルフィギュアを仮想空間に作る。母の「本心」を知るためだ。はじめのうちAIは本物とは違う言動をするが、主人公が少しずつ修正していき、やがて本物がそこにいるのではないかというほどの精度で反応するようになる。お客さんから理不尽な態度をとられた主人公を慰め、当事者以上に怒りを表したり、涙さえ流したり…。

私だったら…亡くなった母をAIとして蘇らせるだろうか？むしろ本物ではないがゆえに、聞きたいことが聞けるかもしれない。ある時点にさかのぼり、言いたいことが言えたかもしれない。しかしそれは死者に対する、あるいは命に対する冒とくだろうか？

AIが本物と同じように反応できるのは膨大な記憶と記録によって、状況に応じてそれらしく判断して表現するからである。振り返ってみたとき私たち人間の言葉や態度は、やはりそれまでの過去の積み重ねの上にあるのは同様である。「こころ」の正体とは何だろう？いつか私自身がAIになることを選べ、いつまでも大切な人たちに応え続ける…それは幸せなことなのだろうか？

重力は時間を超える（映画「インターステラー」とのリンク）

以前勤めていた学校の理科の先生からお薦めとして紹介されていたけれど、見る機会を逸していたのがこの作品。ずっと土日に仕事があって、今日こそは休むぞ！と心に決めた休日にネットで視聴した。環境悪化により、日常的に砂嵐に襲われるアメリカの農村に元宇宙飛行士の男がいた。不思議な出来事の啓示を受け、NASAの地球脱出後に移住する先を見つけるプロジェクトに加わる。宇宙の果てでの幾多の危機の中でも彼の心の中には娘との再会の約束があった。。。

物語は相対性理論や宇宙物理学をベースにしているため、困難な場面も克服した場面も理解するのに苦労したが、この世界が物理法則によって生み出され、終わることを感じる事ができた。学生時代もっとも苦手だった物理だが、キーワードとなった「重力は時間を超える」が不思議と心に刻み込まれて、その後いろいろ宇宙の仕組みについての記事を読んでみた。ビッグバン、ブラックホール、人間原理…冬の星空を眺めながら宇宙とつながっていることを感じている。

ことば（ドラマ「海に眠るダイヤモンド」とのリンク）

長崎県の沖合にある炭鉱の島一端島は現在「軍艦島」と呼ばれる島で、2015年に世界遺産に登録された。南北480m、東西160mほどの小さな島だが、最盛期には5267人も人が暮らしていた。成り立ちや退去には炭鉱の島なりの事情があったにせよ、そこはその時代で最先端の建築技術が投じられた場所だった。今でこそ廃墟となっているが、当時の技術の凄さが様々なメディアで紹介されている。その島を舞台にしたドラマはCGを駆使して臨場感あふれるシーンの連続である。しかし何よりも生活感を感じさせるのは登場人物の言葉である長崎の方言だ。人がいて言葉がある。それこそが島の命であったのではないかと考える。人のいる島とない島。八丈の未来。。。

今年は方言サミットが八丈島で開催された。様々な地域の様々な言葉、そしてそれを大切にしている人々の姿が印象的だった。アイヌの歌を聞いていると、つらつらと先に挙げた3作品が頭に浮かんできた。どんな関係があるのか今も実は整理できていない。しかし、何か宇宙の果てからメッセージが送られている気がするのだ。島の風に吹かれながらこの冬それを探してみようと思う。

3年・模擬裁判



11月15日（金）の5・6校時に、法友全期会の弁護士さん8名をお招きし、出張授業「模擬裁判」を実施しました。

生徒は裁判官、検察官、弁護士の3つのグループに分かれて、事前にいただいた刑事裁判のシナリオを読むことから始めました。

今回のシナリオは、被告人が有罪か無罪かを考えるだけでなく、検察官側、弁護士側ともに、被告人を有罪（または無罪）にするにはどのような質問をするかを話し合うなど、実際の裁判に参加しているような臨場感を味わうことができました。

今回の模擬裁判を通して、裁判のしくみを学んだだけでなく、人の意見にしっかりと耳を傾け、物事を多角的に見ることの大切さを学ぶことができましたようです。

【社会科：田中 真則】



2年・職場体験



あおぞら保育園

11月27日（水）から29日（金）の3日間、2年生は職場体験を行いました。

5月にキャリア教室で「働くということ」について学び、今回は実際の体験となりました。生徒は大変緊張しながらも、3日間の貴重な体験を通して、働くことの大切さや大変さなど、大事なことを学んできたことと思います。

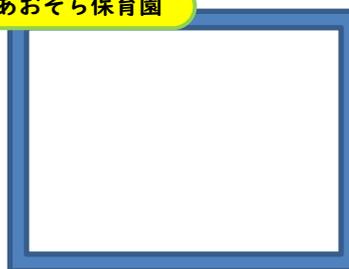
事業所等の皆様には、この活動の趣旨にご賛同いただき、八丈島の次代を担う中学生のためにご協力をいただきましたことに感謝いたします。

ありがとうございました。

【2学年主任】

<お世話になった事業所様(50音順)>

- あおぞら保育園
- 伊勢崎富次郎商店
- スーパーあさぬま大賀郷店
- 製菓やたけ
- 千両
- SORATO
- 八丈島空港ターミナルビル
- 八丈町立図書館
- HALE
- おかしのとみじろう



伊勢崎富次郎商店



スーパーあさぬま大賀郷店



製菓やたけ



千両



SORATO



八丈町立図書館



HALE



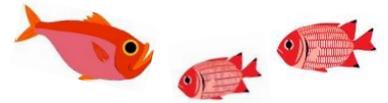
おかしのとみじろう



八丈島空港ターミナルビル



1年・校外学習



12月5日の1～4校時に、1年生は校外学習で八丈島各地を訪れ、八丈島の遺跡、八丈島の漁業、保護猫活動、八丈方言などのテーマに基づき、インタビューや実地見学を行いました。

自ら立てた問いに向き合い、現地で話を聞いたり、調査したりすることで、教室内では得られない深い学びを体験しました。

地域の皆様から多くの貴重なお話を伺い、生徒たちの視野がさらに広がりました。

ご協力いただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

これからも地域とのつながりを大切にしていきます。

【1学年担当】



2年・おさかな教室



12月5日(木)の3・4校時に、本校の家庭科室にておさかな教室を行いました。漁協女性部の方を講師にお迎えして、ムロアジの調理法を教えてくださいました。

生徒は、講師の方の鮮やかな手さばきを、見よう見まねでムロアジを三枚おろしにしていました。感想には、「魚をさばくことは想像以上に簡単で、とても楽しかったです。おばあちゃんがよくさばいているので、一緒にさばいてみたいと思います。」「人生で初めて魚をさばきました。時間がかかったけれどきれいにさばくことができ嬉しかったです。ムロメンチもつみれ汁もとても美味しく作れたので、家でも作ってみたいです。」と書いていました。

ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

【家庭科】





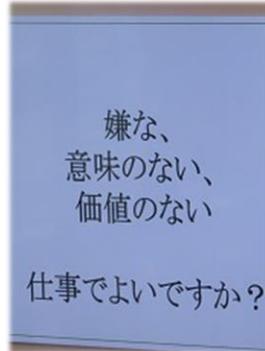
職業講話



12月6日（金）の6校時に、底土港近くのハンバーガーレストラン“Sea Side Kitchen 環”の長橋 潤さんをお招きして、「仕事とは」というテーマで職業講話を実施しました。

講話では、仕事とはどのようなものなのか、どうやって仕事を選ぶか、仕事をする上で大切なことは何かなどを熱く語っていただきました。海外の大学で学んだり、都内でワインバーを開業したりと、豊富な経歴をもつ長橋さんです。その経験に基づいた実践的な話に、生徒たちは熱心に耳を傾けて刺激を受けていました。

【進路学習担当】



<1月の主な行事予定>



日	月	火	水	木	金	土
12月29日 年末年始閉庁日	30日 年末年始閉庁日	31日 年末年始閉庁日	1月1日 元日  年末年始閉庁日	2日 年末年始閉庁日	3日 年末年始閉庁日終	4日
5日	6日	7日 冬季休業日終	8日 始業式 安全指導 新春大会 職員会議	9日 専門委員会	10日 SC 避難訓練	11日
12日	13日 成人の日 昔遊び大会	14日 朝のつどい	15日 町教研一斉部会	16日	17日 SC 英検一次	18日
19日	20日 朝礼	21日	22日 心の教育 職員会議 〔ふらっと〕	23日	24日 SC	25日
26日 都立高推薦入試	27日 都立高推薦入試	28日	29日 職員会議 〔ふらっと〕	30日 学校評議員会	31日 SC	2月1日

※SC : スクールカウンセラーの勤務日

〔ふらっと〕 : 社協の学習教室

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談ください。（学校7-0057）

〈学校以外の相談窓口〉

☆八丈町教育相談室(2-0591)

☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)

